

「ドイツも多分勝つ」が開戦理由の一つ

真珠湾攻撃の日に独は対ソ撤退開始

東京裁判判決60年シンポジウム「東京裁判と戦後日本の歴史問題 —村山談話を検証する—」が28日、東京商工会議所ビル国際会議場に約350名という満員の参加者のもとで開かれました。

昨年に続く二回目の開催で、最初に屋山太郎氏(政治評論家・教科書改善の会代表世話人)が主催者を代表して挨拶、次いで基調講演「戦後外交と歴史問題」を村田良平氏(元外務事務次官/元駐米・駐独大使)が約40分ほど行いました。

この後、伊藤隆氏(東京大学名誉教授・育鵬社歴史教科書編集会議座長)がコーディネーターとなって登壇した各パネリストからそれぞれ約15分前後の提言があり、休息を挟んで全体討論に移りました。

パネラーは大原康男(國學院大学教授)、長谷川三千子(埼玉大学教授)、北村稔(立命館大学教授)、八木秀次(高崎経済大学教授・日本教育再生機構理事長)の皆さんで、三時間半をす超すロングランのシンポジウムとなりました。産経新聞が後援していたので昨夜記事が配信されています。



補助席まで出しても満員だったシンポジウムの会場風景

私は村田良平氏に会うのも講演を聴くのもはじめてでしたので、ここではその内容のごく一部、最初の部分を紹介します。腰を痛めているそうで着席しての講演でしたが、80才を超えているとは思えない声の張り、元気な話しぶりが印象に強く残りました。

//// //

私は外交官として、いつも戦争というものを背負って仕事をしてきた人間です。[外務省](#)には1952年に入りまして1994年に退官しましたが、その間、一日として戦争と言うことを考えなかった日はないというくらい大きい荷物を持った人生だったと思います。そんな人間の感想として申し上げます。



高齢でもしっかりした講演してくれた村田良平元外務次官

いわゆる自虐史観というものが日本で横行してまして、最近はそれを批判する新しい考え方が出てきて、日本人のねじ曲げられた考え方は完全ではありませんが相当是正されてきたと私は思います。他方、それでは日本は戦争というものについての研究と反省が行われているかという、これはまだ行われていないと私は感じます。

昭和16年秋の段階で日本はいわゆるABCD包囲線を作られて、石油がないと日本は陸軍も海軍も動かない、そこにハル・ノート突きつけられた。その時点で戦争をしたと東京裁判でも東條英機さんも他の方も言われて、だから自衛戦争だと言われた。それは大いに理屈があります。

しかし、日本がああ戦争に踏み切った理由のひとつに「ドイツも多分勝つだろう」と思ったに違いないのです。当時、日本一国でアメリカやイギリスなどの大国を相手に勝てるという見込みなどは誰が考えてもありえなかったのです。当然、前提にはそういうことがあった。

すると独ソ戦で昭和16年の12月5日にはドイツ軍の進撃が止まり、真珠湾攻撃をした12月8日にはモスクワに30キロくらいまで迫っていたドイツ軍の撤退が始まったのです。ですから今更そんな事を言っても仕方がないとも言えますが、仮に一月開戦という政治日程を組んでいたとしたら、「場合によってはドイツはソ連に負けるかも知れない」という考え方も出てきたかも知れないということです。

その頃の天皇陛下と重臣達との会話の記録がかなり残っておりますが、例えば陸軍の杉山元参謀総長に陛下は「大丈夫か」と聞かれ、「四ヶ月で片づけてみせます」と答えている。すると陛下は「あの広い太平洋を四ヶ月とはなんだ。お前は中国と闘うときも四ヶ月といっておきながらいまだに続いておるではないか」とおっしゃったようでございます。

しかし、実は海軍の真珠湾攻撃も、陸軍のフィリピン・マレー半島への上陸作戦も、参謀本部が純軍事的な見地から非常に良く研究しており、波の調子、風の調子、気候はどうなど、そういうことで実は12月8日と決めてしまったのです。一方でヨーロッパ戦線ではドイツが負けちゃった。そういうことでありますから、この辺は改めて戦後日本はもう一遍、よく考えるべきではなからうかと思わわけであります(以下略)。



今日は大安吉日のせいか赤坂山王の日枝神社でも婚礼が五組入っておりました。

・恐らく今回のシンポジウムも別冊正論で数ヶ月後には詳細な内容が収録されるかも知れません。自虐史観の是正はかなり進んだけど、戦争そのものの研究と反省はまだ不十分という指摘は、的を得ているようにも思います。

・ロビーで関係書籍の特別価格での販売が行われていましたが、私が定価で購入した「村田良平回想録」をはじめかなりの書籍がありました。軽く千円以上は損している勘定で、これを取り返そうと予定になかった本を二冊購入してしまいました。

●「村山談話」を検証 東京でシンポ「東京裁判史観」脱却を

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(6)

タグ: 村田良平 東京裁判 村山談話 東京裁判判決60年 屋山太郎 伊藤隆 大原康男 長谷川三千子 北村稔 八木秀次

コメント(6)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **花うさぎ** さん
・ニュース 朝日新聞世論調査

2009/03/30 00:38

小沢代表「辞任」を 63%(前回57%)
小沢氏の説明「不十分」 86%
首相に相応しいのは 麻生氏30%(前回22%)
小沢氏26%(前回32%)

<http://www.asahi.com/politics/update/0329/TKY200903290218.html>



Commented by **花うさぎ** さん
・ニュース2 「北朝鮮ミサイルの迎撃ない」米国防長官
2009.3.29 23:11

2009/03/30 01:01

【ワシントン＝有元隆志】ゲーツ米国防長官は29日のFOXテレビ番組で、北朝鮮が近く長距離弾道ミサイルを発射するとの見通しを示したうえで、米領域を標的としたものでない限り、「われわれが何らかの対応をする用意はない」と述べ、撃ち落とさない方針を表明した。

北朝鮮は「人工衛星」の打ち上げと主張しているが、長官は長距離弾道ミサイルの発射実験が目的との認識を強調した。さらに、ミサイルへの核爆弾搭載が北朝鮮の長期的な目標との考えを明らかにしたが、現在搭載能力があるかについては懐疑的な見方を示し

た。

2009/03/30 16:06

<http://sankei.jp.msn.com/world/america/090329/amr0903292312011-n1.htm>

・日本を狙っていても迎撃しないの？。



Commented by **parkmount** さん

To 花うさぎさん

>・ニュース 朝日新聞世論調査

>

>小沢代表「辞任」を 63%(前回57%)

>小沢氏の説明「不十分」 86%

>首相に相応しいのは 麻生氏30%(前回22%)

> 小沢氏26%(前回32%)

>

><http://www.asahi.com/politics/update/0329/TKY200903290218.html>

2009/03/30 16:11

とうとうみんなから愛想を尽かされたようです。残ったのはどうしようもない鳩ボンだけのようで。

村田氏の仰っていることはある意味、「情報戦争」が今も昔も重要だと云うことですかね。



Commented by **izashun** さん

米国は北朝鮮がたとえ日本を狙っていても迎撃しませんよ。何故って

それは米国を狙ってないからです。日米安保なんてあてにならないのは

彼らがあっけなく北朝鮮を友好国?と認めたことでもわかるでしょ。



Commented by **花うさぎ** さん

To parkmountさん こんにちは。

2009/03/30 16:44

>とうとうみんなから愛想を尽かされたようです。残ったのはどうしようもない鳩ボンだけのようで。

その後発表されたFNNと産経調査でも同様の結果でした。願わくばこのまま辞めずに選挙になって欲しいです(^ ^;)。

>村田氏の仰っていることはある意味、「情報戦争」が今も昔も重要だと云うことですかね。

これは私自身、聞いていて「難しいところだな」と思いました。ドイツが負けそうだからハルノート受諾とは行かなかったかも知れませんし。



Commented by **花うさぎ** さん

To izashunさん こんにちは。

2009/03/30 16:47

>それは米国を狙ってないからです。日米安保なんてあてにならないのは

確かに今ほど日米安保が試されている時はないでしょうね。

>彼らがあっけなく北朝鮮を友好国?と認めたことでもわかるでしょ。

まだ「友好国」とまでは認めてないでしょう。オバマ大統領になって武力行使はほぼ10%なくなったと思いますが。